



# 海上安全だより

海難“0”を目指して！！

第一管区海上保安本部

交通部

平成23年2月 No.19

**冬季の転覆海難は冷たい海に投げ出されるため、人命に直結します。**  
過去5年間、1月から3月における北海道周辺で発生した海難の5割弱は漁船によるもので、そのうち転覆海難は約2割発生しています。  
転覆を防止するために**細心の注意を払いましょう！**



## ～ 痛ましい海難 ～

・昭和53年12月宗谷岬にて、  
沖合い底引き漁船(124トン、  
乗組員18名)が揚網中、船体  
傾斜し、転覆、沈没した。  
(2名死亡、8名行方不明者)

・昭和60年2月カムチャッカ半  
島沖合いで遠洋底引き網漁  
船(349トン、乗組員22名)が、  
揚網直後に横波を受け、上甲  
板の魚が移動、船体が傾斜  
し浸水沈没した。  
(2名死亡、18名行方不明者)

## どんな時に転覆しやすいか？

- ・漁獲物や荷物の左右のバランスがとれず船体が傾斜している
- ・重心が高い
- ・**1波だけより2波が続くとき**  
(特に1波目が砕け波のとき)
- ・波長の割に波の大きい異常な波  
(**砕け波、三角波**など)

**\* バランスが悪く、船が傾斜していたり、重心が高かったりすると復元力(船がもとにもどる力)は減少します**

## 転覆を防止するには？

- ・積荷、魚網などをできるだけ下の方に搭載して重心を下げる
- ・積荷、魚網などを左右にバランス良く積み、移動しないようしっかり固縛する
- ・船内に海水が入らないようにハッチの出入口、窓をしっかりと閉める
- ・波長の割に波高の大きい異常な波が発生しやすい海域(河口や暗礁の近く)はできるだけ避ける
- ・**横波**や**追い波**などを受けるようなコースは避け、必要な場合には安全な針路方向の港に避難する

**転覆パターンの例** (第1波で揺すられた後、第2波の山にのって流れ、波の谷に落ち込んで転覆)



## (AIS)海氷に関する情報についてAISメッセージで提供中

冬季のオホーツク海では、海氷が押し寄せ、船舶の航行に大きな影響を与え、時には宗谷海峡、根室水道へ流れ出ます。

小樽船舶通航信号所では、海氷による海難を防止するため、海氷が流れる海域を航行する船舶に対して、次のとおり、AISメッセージで情報提供しています。

### AISメッセージの表示例

<HOKKAIDO> ICE BELT: SOUTHERN SEA OF OKHOTSK HAS BEEN OCCUPIED. GET FURTHER INFORMATION VIA ICE INFORMATION CENTER JAPAN WEB PAGE OR NAVTEX.

オホーツク海南部に海氷域があります。詳細は、海氷情報センターホームページまたは、NAVTEXで確認して下さい。

昨年1月、根室海峡で漁船が海氷に接触して生じた破口から、浸水する事故が発生しています。また過去には、船舶が海氷に閉ざされ航行できなくなるといった海難も起こっています。  
**海氷情報センターのHP等で最新の海氷情報を入手し、このような海難を未然に防ぎましょう。**



### AIS搭載船舶へのお願い

- (1) AIS装置の電源は常時ONにし、操作方法を確認しておきましょう。
- (2) 自船の位置情報が正しく入力されているか定期的に確認しましょう。
- (3) 船舶データ、船舶の動静(航行中、錨泊中等)、目的地およびETA(到着予定時刻)の航海関連情報を正確に入力しましょう。
- (4) AISメッセージの受信時に、受信音が聞こえるようにしましょう。
- (5) 連絡手段確保のためVHF(CH16)を常時聴取しましょう。

ご要望、ご意見は第一管区海上保安本部交通部まで

TEL 0134 - 27 - 0118

(内線: 2615、2623)

次号へ続く～